

兵庫県県土整備部土木局 河川計画課
主幹兼事務係長 黒田 徹 様 気付

武庫川流域委員会

平成16年4月26日

委員長 松本 誠 様

〒660-
尼崎市
草 薙 芳 弘
Tel・Fax

第1回運営委員会の検討議題要望書

流域委員研修会開催の提案

武庫川流域委員会の効率的運営に関し、運営委員の諸氏にご多忙にも関わらずご尽力いただき、謝意を申し上げます。

早速ですが、今回開催されます第1回運営委員会の議題のうち、その他の項において、今後流域委員を対象とした研修会の開催を開くことについて、審議いただきたく要望します。

1. 審議事項の主旨

各委員におかれましては、今日の武庫川に関する諸要因につき、それぞれ十二分にご認識されていることであり、時間のロスは周知と思いますが、今後の武庫川流域委員会での審議を、効率的に推進を図るためには、審議項目に関連する武庫川の現状を正確に把握したうえで、対応することが必要と考えます。

(注)

今後の流域委員会における審議過程のなかで、その都度検討議題として上程される項目のうち、必要と考えられる関連要因について、委員から詳細な資料の提出・説明の要請があれば、本会議開催以前に研修会を設定し実施する。

なお、本委員研修会は任意参加とする。

2. 第1回研修会(案)

(案) 武庫川の概要

今後、本流域委員会において審議される中で、提示・解説される項目とは思いますが、一例として以下の項目をリストアップしました。

(1) 武庫川の流域洪水災害、豪雨ならびに危険水位等増水に関する今日までの歴史的経緯とその要因。

主な洪水災害実情。たとえば、昭和20年10月、昭和25年9月、昭和42年7月、昭和58年9月などの豪雨に関する気象・流域環境など諸要因について

(2) 武庫川が洪水災害の危険予知として考えられる事項と現状の諸要因について、キーポイントをリストアップ。

(3) 現在、河口から阪急電鉄付近まで護岸の改修工事が実施されているが、この目的・理由。

実施内容とその計画概要。

- (4) 現在の武庫川堤防（左岸・右岸）の耐震・耐洪水・植林等に対する堤防の安全性の評価。
- (5) 武庫川本流、ならびに水系支流の最大降雨量における流量能力と、現有ダムの能力と役割。

(注) 本件は第2回流域委員会において、「河川計画制度と武庫川のこれまでの取り組み概要」の項で1部報告もありましたが、細部にいたる内容を認識しておくことが必要と考えます。

以上

*私見

委員の拜命を受け、務めなければならない責務の一つに、流域委員会の討議・運営上、一般の方の傍聴者や報道関係者に、委員会の運営と内容に対して何のための会議なのか、今回は何を審議したのかなど疑惑の念を抱かれ、悪評されないことです。

(たとえば、堂々巡りの展開意見を長々と入れ替わり発言のため、会議の進展なく時間不足を生じ次回持越しとか、中傷的発言として「私はこう発言したが認められなかった」とか) そのための一方策として大変難しい課題ですが、あらかじめ討議項目を細分化し、上程することで集中討議ができ、意見の集約・合意が早く得られやすく好ましいと考えます。